



[発行] 中 央 区 議 会
中央区築地一丁目1番1号
[電話] 3543-0211(大代表)
[中央区議会ホームページ]
<https://www.kugikai.city.chuo.lg.jp/>

ちゅうおう —Chuo City Assembly—

区議会だより

第4回定例会



令和3年(2021年)
No. 248



「新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書」を提出

地域医療を支えるための支援体制を強化することなどを求める意見書を提出しました。(5面)

令和2年度中央区一般会計補正予算など19議案を可決

補正予算、条例の改正、指定管理者の指定、諮問など19議案を原案のとおり可決しました。(6面)

迎春



年賀状など時候のあいさつ状は、公職選挙法により禁止されておりますので、新年のごあいさつは、本紙上をもって代えさせていただきます。掲載は議席順です。

年頭にあたって



中央区議会議長
押田まり子

あけましておめでとうございます。

区民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より本区議会の活動につきまして多大なるご支援、ご協力を賜り、中央区議会を代表して厚く御礼申し上げます。

さて、未だ衰えを知らない新型コロナウイルス感染症の猛威により、世界はかつてない時代の転換期を迎えました。外出時のマスクの着用や、三密の回避など、「新しい生活様式」の推進により、人々の意識や価値観も変化を余儀なくされています。

昨年、国民が皆閉塞感に襲われる状況の中、将棋界では、藤井聡太棋士が、最年少で二冠のタイトルを獲得、またテニスの大坂なおみ選手が全米オープンで二度目の優勝に輝くなど、若い世代の活躍に、大いに勇気づけられました。

今夏の東京オリンピック・パラリンピック大会の開催に向け、この未曾有の事態を乗り越えるため、区経済への打撃を最小限に抑えると同時に、区民の皆様の健康と生活を確実に守り守りしていかなくてはなりません。

私たち中央区議会は、区民の皆様の声を的確に区政に反映させ、すべての区民が安心して暮らすことができる中央区を実現するため、区行政と力を合わせて、当面する諸課題の解決に迅速かつ果敢に取り組んでまいりる決意であります。

結びに、本年が明るく希望に満ち、輝きにあふれた年でありますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

主 な 内 容

- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・2面～4面
- 委員会の活動、意見書(要旨)・・・・・・・・5面
- 議案等の審議結果、各会派新年あいさつ・・・・6面

第4回定例会の経過

11月19日	20日	本会議
	24日	本会議
25日	26日	企画総務委員会
	27日	本会議
	30日	環境建設委員会
		区民文教委員会
12月1日		福祉保健委員会
3日		本会議
		懲罰特別委員会

提出された議案等

- ◆区長提出議案
 - ・条例・・・・・・・・・・・・・・・・・・5件
 - ・予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件
 - ・契約・・・・・・・・・・・・・・・・・・2件
 - ・任命同意・・・・・・・・・・・・・・・・1件
 - ・その他・・・・・・・・・・・・・・・・8件
- ◆議員提出議案
 - ・意見書・・・・・・・・・・・・・・・・1件
- ◆諮問・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件
- ◆議決・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件

一般質問の要旨

一般質問とは
区の仕事全般について、区長等に報告や説明を求めることです。



あたらしい中央
小坂 和輝

区立全小学校6年生の移動教室の実現

- 問** 区外の区施設を優先利用して宿泊先を確保するなど、全庁を挙げての支援により、小学校6年生の移動教室実施の再検討を。
- 答** 学校の年間スケジュール調整等の課題があると認識。児童が主体的に構成を考えた校外学習等創意工夫した行事を実施している。

晴海選手村でのオンライン入村式と 区内児童・生徒の参加

- 問** 児童・生徒参加のオンライン入村式開催を働きかけてみては。
- 答** 安全・安心な大会開催と、費用最小化・簡素化のため式典としての入村式は廃止と聞いているが、大会に関わることは貴重な経験。さまざまな形で大会イベント等へ参加の機会を創出する。

その他質問事項 ①即日結果のPCR検査等コロナ対策の充実 ②言論を後退させない区の姿勢 ③「新型コロナ対策医療福祉関係者連絡会議」設置 ④施策の取捨選択の基準を ⑤過度な密を避けるまちづくり方針 ⑥市場跡地への区民意見集約 ⑦月島三丁目大規模工事周辺負担軽減 ⑧日本橋・京橋・月島・晴海の4区割へ ⑨生涯教育推進計画策定 ⑩つくば市との「研究学園都市連携協定」締結



あたらしい中央
高橋 まきこ

区立幼稚園とこども園について

- 問** 区立幼稚園の給食提供や延長保育の必要性への考えは。
- 答** 一定のニーズがあることは認識しているが、現行の施設では新たな給食室や保育室を整備するための場所はなく実施は困難。
- 問** 3園で実施中の「預かり保育」の全園展開を検討しているか。

- 答** 認可保育所における3歳児以上の待機児童の状況や預かり保育の利用状況から、必要性は低いと考える。

安全安心メールと見守り、 保護者との連絡体制について

- 問** (1)ICT等の活用による子ども見守りのシステムを構築しては。(2)来年4月のタブレット端末1人1台達成時に、学校等と保護者との連絡のオンライン化や、配付物のデジタル化実施の考えは。
- 答** (1)多種多様な民間サービスがあり、他自治体の事例を踏まえ検討。(2)タブレット端末を活用した保護者との連絡や配付物のオンライン化などの早期実施に向けて、すでに準備を進めている。

その他質問事項 ①育ちのサポートカルテの活用と意義について ②男女平等に基づく制服(標準服)、名簿、整列のあり方について



中央区議会公明党
中島 賢治

コロナ禍の中小企業支援体制について

- 問** 中小企業が2月の閑散期に必要な融資をスムーズに受けられることが事業継続や雇用確保のために必要と考えるが、中小企業の支援のために、年明けに融資枠の拡大を図るべきでは。
- 答** 区独自の「新型コロナウイルス感染症対策緊急特別資金」は例年の融資あっせん件数の約4倍に上り、影響の深刻さを改めて認識。現在、新たな経済対策と既存事業の充実について、全庁横断的に検討をしている。融資制度の充実についても、他自治体の融資制度も参考にしながら検討を進めている。

産後ケア施策について

- 問** 産後ケアや中央区版ネウボラ事業の成果や課題について、本区の見解は。
- 答** 産後ケアについては、利用者アンケートで99%が「大変満足」「満足」と答えており評価の高い事業であるが、同一時期に利用希望が集中すると、必ずしも利用希望日に利用できないという意

見もある。令和元年度開始の「子ども子育て応援ネットワーク」は、認知度が低い状況だが、コロナ禍で育児困難や児童虐待が増えている状況にあっては、重要な役割を果たしているものと認識。

- 問** 母親の育児負担から産後うつを防ぐために、訪問型施策の充実に取り組み、緊急一時保育援助事業の拡大をすべきでは。
- 答** 新型コロナウイルス感染症の拡大等により、施設型の保育サービスの利用を控える方も見られることから、訪問型の一時預かり保育である「ベビーシッター利用支援事業」の実施を検討している。現時点では緊急一時保育援助事業の拡大は考えていないが、今後も個々のニーズに柔軟に応えられるよう、子育て支援策の充実に努めていく。

自然体験について

- 問** 東京近郊の森林の一部は荒廃が進み、存続が危ぶまれている。この荒廃した山を間伐し、除伐することは自然教育の体験としては重要な機会である。子どもたちに「中央区の森」で間伐や除伐の体験を取り入れてほしいと考えるが本区の見解は。
- 答** 間伐体験は、子どもたちに自然保護活動に取り組む気持ちを育み、他者と協働することの大切さを実感させるものと認識している。現地までの交通事情により、日帰りでの活動が困難なため、宿泊施設などの諸条件が整い次第、実施に向けた検討をさらに進めることができると考えている。

その他質問事項 ①ひとり親支援について ②子どもの遊び場について ③水質浄化について ④老朽化した長屋について

区議会のインターネット中継(録画中継)をご利用ください！

中央区議会では、開かれた区議会の一環として、一般質問および区長所信表明の録画映像をインターネットで配信しています。録画映像は、本会議終了後、おおむね6日後(土・日・祝日・休日を除く)からご覧になれます。区議会ホームページもしくは右のQRコードからアクセスできます。





中央区議会区民の風
渡部 博年

新型コロナウイルス感染症対策について

問 (1)ホームページに、24時間の区の窓口としてコロナ感染症専門の別ページを設置することについて、区の考えは。(2)ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなどの対応と、利用していない人へのリアルタイムの広報のあり方について、区の考えは。

答 (1)本年1月に感染症対策を区ホームページに掲載し、2月にトップ画面に新たに感染症に関する緊急情報欄を設け、迅速な情報提供に努めている。今後もデザイン上の工夫を重ね、検討を進めていく。(2)SNSについては、広報紙やホームページの補完として活用。さらに、広報紙をはじめ掲示板やテレビ広報なども活用してきたが、今後も迅速で正確な情報提供に最善を尽くす。

問 保健所機能の充実について、(1)第1波の時のように電話に出られない、検査への案内や陽性、陰性、入院等の対応の遅れなど

の課題を再度確認し、人員確保や体制確立を早急に進めることが重要であるが、その対応は確立されているのか。(2)医療関係者との連携強化を進め、感染拡大防止に向けての協力体制の確立とPCR検査の体制継続をさらに進める必要性について考えは。

答 (1)第3波に向けては、職員応援体制を強化しつつ、さらなる派遣職員の増員を図っている。(2)緊急事態宣言前から連絡会議を開催し、協力体制を確立。PCR検査は、検査センターを当面の間運営する必要があると考えており、民間の検査医療機関も増加していることから、連携を図りながら検査体制の充実に努める。

問 (1)オンライン学習など、学びの保障や学習支援を確実に実施し、学校と保護者そして子どもたちとの不安・懸念の解消について、教育委員会としての準備や認識は。(2)学校内における感染拡大防止の対策は。(3)学校は被災時には避難所としての機能もあるが、この時の感染症対策などについては完了しているのか。

答 (1)来年4月から1人1台のタブレット端末整備によるオンライン学習への準備を進めており、今後学校休業に直面した場合に、子ども達の成長や学びの保障が図れるよう取り組む。(2)マスクの着用や手洗いのほか、冬場の寒さ対策としては、児童・生徒に配慮した感染防止に努める。(3)感染症対策基本マニュアルを作成、地域の皆様と共有し、訓練を実施。さらに、感染症対策物資の備蓄を今年度中に各防災拠点に配備を完了させる予定。



立憲民主党新風会
梶谷 優香

防災マップアプリの活用について

問 新型コロナウイルス対策等感染症予防の観点から、災害時に避難所の混雑状況をリアルタイムで表示するサービスを、本区の防災マップアプリにも組み込むべきと考えるが、本区の見解は。

答 システム改修を伴うため、今後、費用対効果を含め検討していくが、ホームページでは、現行システムでも対応可能なことから、避難所の混雑状況をわかりやすく提供していく。

妊娠・出産環境の充実について

問 不妊治療と仕事の両立のための職場環境の整備に向けた企業に対する取り組みについて、現状と今後の予定は。

答 不妊治療等に関する休暇制度などワーク・ライフ・バランス推進企業の取り組みについて、広報紙やホームページ等に掲載しPRを図っている。また、東京商工会議所等の関係機関と連携した講演会やセミナーの機会を通じて普及・啓発に努めていく。

問 60万円台後半の分娩費用で出産できる聖路加助産院があるが、既往歴や過去の出産(妊娠・出産・産後の経過)、体外受精での妊娠等多くの条件があり、利用条件があまりにも限定されていることから、条件にあてはまらなかった妊婦に限り、出産費用の助成について前向きに検討すべきと考えるが、本区の見解は。

答 区内に出産できる病院が聖路加国際病院しかなかったことから、60万円台後半の分娩費用で利用できる聖路加助産院を選択肢のひとつとして区内に誘致した。このような経過から、助産院と一般病院との差額について助成することは難しいものと認識している。

その他質問事項 ①安全・安心まちづくりについて ②教育環境の充実・学習活動の推進について



日本共産党中央区議会議員団
奥村 暁子

新型コロナウイルス対策について

問 江戸川区のような車両の巡回や、千代田区や杉並区、練馬区などで実施されているバスやトレーラーハウスの活用などにより、PCR検査センターを増やしていくことを検討すべきでは。

答 佃のPCR検査センターおよび検査診療医療機関の拡充により、現状対応できていることから、増設予定はない。

猫との共生社会について

問 晴海に作られた「猫の臨時保護所」の活用について、(1)ボランティアとの話し合いは。(2)保護所が活用されない要因をどのように捉え、どう改善して今後の活用につなげていく考えか。

答 (1)(2)ボランティアと意見交換を行い、猫が自由に動ける空間がないなどの施設のハード面や、交通の利便性などの活動面での負担感といった課題が出ている。今後の施設の活用策について、引き続きボランティアの意見も聞きながら検討していく。

公共施設の整備について

問 学童クラブ待機児童解消のため、佃リバーシティの書店跡地のスペースを佃児童館のサテライト施設として活用し、学童クラブの定員を増やすことを検討してはいかがか。

答 サテライトが担う機能や対象となる児童の基準、夏季など長期休暇中の活動内容、児童館との間で移動が生じた場合の安全性の確保など、多くの検証すべき課題があると認識している。

その他質問事項 核兵器禁止条約について

区議会ホームページをご利用ください！

中央区議会では、区議会の活動状況を広く区民の皆様にお知らせするため、ホームページを開設しています。会議録の検索や本会議および各委員会の日程などがご覧いただけますので、ぜひご利用ください。



本議会の発言内容は会議録に収録され、後日、本庁舎情報公開コーナーおよび区立図書館に備えますので、そこで閲覧することができます。

また、区議会ホームページにも掲載しますのでどうぞご利用ください。



中央区議会自由民主党議員団
太田 太

新型コロナウイルス感染症対策について

- 問** インフルエンザとの同時流行を視野に入れた年末年始期間の医療やPCR検査の体制は。
- 答** 区内3カ所に休日応急診療所を開設してきたが、佃の休日応急診療所をPCR検査センターに転用したため、京橋休日応急診療所の開設日、開設時間を拡大して対応している。インフルエンザの流行期には、医師会と協議し、状況に応じた医療提供体制を整備している。年末年始期間におけるPCR検査については、医師が必要と認めた方が検査を受けられる体制を確保していく。

「養育家庭制度」「特別養子縁組制度」について

- 問** 里親制度は、児童養護施設の保護措置を家庭的に行うための制度である。「養育家庭制度」、「特別養子縁組制度」の中央区における位置づけや認識は。
- 答** 養育家庭や特別養子縁組を前提とする養子縁組里親といった里親制度については、児童相談所が実施機関となっている。区と

しては、里親制度は子どもの愛着関係を形成し、健全な育成を図ることができる重要な制度であると認識している。

問 里親制度・特別養子縁組制度の周知・広報体制の充実について考えは。

答 毎年児童相談センターと共催で、「健康福祉まつり」において、養育家庭の体験発表会や養子縁組里親も含めた里親制度の紹介DVDの上映など、周知に努めている。今年度は、「健康福祉まつり」が中止となったことから、月島区民センターで、パネル展示や児童相談センターの専門相談員による相談会を実施する。

ながらスマホ対策について

- 問** 社会問題化している「ながらスマホ」についての区の見解と、「歩きスマホ」について、地元警察、地域の企業や町会との協力体制を見据えた今後の対策は。
- 答** 「ながらスマホ」については、昨年12月に施行された改正道路交通法により罰則が強化され、一定の抑止効果があったと認識。自転車を含めた「ながらスマホ」の危険性や罰則について、さらなる周知を図っていく。「秋の中央区交通安全運動実施要領」においては、新たに「歩きスマホ」防止に関する広報啓発を重点に掲げ、通行マナー向上キャンペーンを実施するなど、区内警察署等関係機関と連携した取り組みを強化している。また、「歩きスマホ」の危険性について、ホームページでの周知のほか地域・区内事業所等と協働した啓発活動など、関係機関・団体等との協力体制を構築し、交通ルールの遵守と歩行マナーの向上に努める。



中央区議会自由民主党議員団
田中 耕太郎

「中央区スタイル」の確立と実現について

- 問** 本区は人口急増地域であり、集合住宅の居住率がおおよそ9割であるなど、独自のライフスタイルを確立している。そのため、各世代別、地域別、居住年数別に区民のライフスタイルが大きく異なることが予見される。そこで、マーケティング的手法の導入やビッグデータ、公的機関のオープンデータ等も活用し、区民の志向やライフスタイルの調査と検証をすべきと考える。区民の属性も踏まえた詳細なライフスタイルや意識調査実施への見解は。
- 答** 区では、「区政世論調査」のほかに、子育て世代や高齢者、障害者など施策の内容に応じた意識やニーズ調査等を実施し、実態の把握とともに各施策への反映を適切に行っている。ビッグデータやオープンデータの活用等による手法も視野に入れつつ、区民の多種多様な意見・要望等を把握・分析した上で、基本構想に掲げる将来像の実現に向けた施策立案に生かしていく。

官民を問わない多様な連携、協力の拡充策について

- 問** 地下鉄新線実現へ向け、(1)区として長期的に取り組むロード

マップが必要では。(2)メディア等では、本区は「東京8号線が先」となることを実質的に容認していると表現されているが、本区が要望している臨海地下鉄新線との兼ね合いについて見解は。(3)本区が負担すべき事務事項や費用と財源創出策は。(4)地下鉄新線整備に向けた基金の積み立て等を小さくとも始めるべきでは。

答 (1)(2)本路線は多数の自治体にまたがり、本区のみで道のりを示すことは困難。都は、『「未来の東京」戦略ビジョン』において、本路線を含む9路線は、調整が整った路線から順次、事業に着手するとしている。推進大会を契機とした地域の機運の高まりや、都の「築地まちづくり方針」において方向性が示されていることから、さらに具体的なロードマップ策定を都に要望する。(3)今後、具体的な検討がなされ、費用負担の考え方が示されると認識。(4)「中央区首都高速道路地下化等都市基盤整備基金」を今年度創設。

東日本大震災10年目の追憶と防災力向上策について

- 問** 大規模停電について、北海道や千葉の事例を検証し、総合的な対応策を想定しているか。大規模長期停電時に、公共施設での非常用電源の確保策について想定は。優先度の高い施設や状況へ非常用電源車などのバックアップ体制は対策しているか。
- 答** エネルギー事業者への聞き取り調査など、一定の検証をしてきた。本庁舎等の主要施設には重油等による自家発電設備の設置により、長期停電時に電力確保を図る。さらに、防災拠点の電力確保のため、新たにポータブル蓄電池を配備。また、東京電力など民間事業者と災害時の協定を締結し、バックアップ体制を強化。

その他質問事項 教育水準の向上策について



中央未来会議
二瓶 文徳

区民サービスと電子自治体について

- 問** 行政サービスの効率化・簡素化の視点も踏まえ、今の時代に即した「人にやさしいまごころサービス」について本区の見解は。
- 答** 区民サービスの利便性の向上や効率化を推進し、手続のデジ

タル化やキャッシュレス対応などに取り組んでいく。

問 電子自治体の実現性・課題について本区の見解は。

答 情報化基本方針の改定作業の中で、電子申請の拡大など具体的なアクションプランの策定を進めている。また、新たなサービス導入に伴うセキュリティ対策、機器の充実等も検討している。

コロナ禍で銀座を守る施策について

- 問** 再び飲食店に対して自粛要請が出た際に、銀座ブランドを守るため、事業継続をするための支援が必要では。
- 答** 全庁的に、さらなる支援事業の創設や充実を検討している。
- その他質問事項 情報モラル教育について

委員会の活動（令和2年11月～12月）

常任委員会

企画総務

- 【議案の審査】
- ◆令和2年度中央区一般会計補正予算
 - ◆地方自治法第244条の4第2項の規定に基づく議会への諮問について
- ほか3件
- 【主な報告事項】
- ◆公の施設を利用する権利に関する処分に係る審査請求の裁決について
 - ◆令和2年特別区人事委員会等勧告概要について
 - ◆中央区地域防災計画の修正について
- ほか3件

区民文教

- 【議案の審査】
- ◆中央区立幼稚園設置条例の一部を改正する条例
 - ◆中央区立学校設備使用料条例の一部を改正する条例
- ほか7件
- 【主な報告事項】
- ◆阪本幼稚園の廃止について
 - ◆佃中学校の学校施設開放について
 - ◆成年年齢引下げに係る中央区成人の日記念式典「新成人のつどい」のあり方について
 - ◆区立小学校特認校制度の申込み状況について
- ほか7件

福祉保健

- 【議案の審査】
- ◆中央区指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例
 - ◆中央区プールに関する条例の一部を改正する条例
- 【主な報告事項】
- ◆届出によりプールを経営できる者の追加について
 - ◆オンライン相談の開設について
 - ◆昭和こども園（仮称）の運営事業者の決定について
- ほか7件

環境建設

- 【議案の審査】
- ◆特別区道の路線の認定について
- 【主な報告事項】
- ◆特別区道の路線の認定について
 - ◆中央区一般廃棄物処理基本計画中間報告について
 - ◆東京エコサービス株式会社の経営状況等について
 - ◆年末年始のごみ・資源の収集について
 - ◆区立住宅等の入居者募集について
- ほか2件

特別委員会

築地等地域活性化対策

- 【主な報告事項】
- ◆中央区立中央会館等の指定管理者候補事業者の決定について
 - ◆中央区ビジネス交流フェア2020の開催について
 - ◆大規模改修工事に伴う日本橋公会堂ホールの利用申込受付の中止について

子ども子育て・高齢者対策

- 【主な報告事項】
- ◆福祉施設の指定管理者の評価結果について
 - ◆桜川地域密着型特別養護老人ホーム（仮称）等の開設等について
 - ◆指定居宅介護支援事業所に係る管理者要件の特例等について

コロナウイルス・防災等対策

- 【主な報告事項】
- ◆新型コロナウイルス感染症への対応について
 - ◆ちゅうおう安全・安心メール等による防犯情報の配信状況等について
 - ◆中央区耐震改修促進計画の改定について

東京オリンピック・パラリンピック対策

- 【主な報告事項】
- ◆東京2020大会簡素化等の検討状況について
 - ◆2021年 東京2020聖火リレーの実施概要について
 - ◆晴海コミュニティ構想検討会議の設置について

意見書の要旨

今定例会で可決した意見書は次のとおりです。なお、全文については、ホームページに掲載しています。

新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書

- 中央区議会は、左記事項の取り組みを強く要望します。
- 一、引き続き医療機関の経営に深刻な影響が出ているため、地域医療を支える支援体制の強化。
 - 二、地方創生臨時交付金の第三次の速やかな実施及び減収補てん債の活用に向けた制度改正等による財政支援。〔ほか3項目〕

〔提出先〕 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣

懲罰特別委員会を設置しました

12月3日の本会議において、「高橋元気議員に対する懲罰動議」が提出されたことに伴い、懲罰特別委員会を設置し、審査を付託しました。

懲罰特別委員会委員名簿 【◎委員長 ○副委員長】

- | | |
|---------------|----------------|
| ◎木村 克一（自由民主党） | ○塚田 秀伸（自由民主党） |
| 磯野 忠（自由民主党） | 小坂 和輝（あたらしい中央） |
| 墨谷 浩一（公明党） | 渡部 博年（区民の風） |
| 渡部 恵子（新風会） | 小栗智恵子（日本共産党） |

同日の本会議において、懲罰特別委員会の委員長報告を受け、採決の結果、「戒告」の懲罰を決定しました。

議案等の審議結果（賛成：○ 反対：×）
（退席：－

議 案 名	自由 民主 党	あ た ら し い 中 央	公 明 党	区 民 の 風	新 風 会	日 本 共 産 党	維 新 の 会	未 来 会 議	議決 結果
説 明									
○区長提出議案									
令和２年度中央区一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
1億5,133万2千円の追加 総額 1,531億8,140万9千円									
中央区指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例									原案 可決
指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準及び指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の一部を改正する省令の施行に伴い、一定の場合における指定居宅介護支援事業所に係る管理者要件の特例の設定等をするほか、規定を整備する。	○	○	○	○	○	○	○	○	
中央区プールに関する条例の一部を改正する条例									原案 可決
届出によりプールを経営できる者に、幼保連携型認定こども園において専ら当該幼保連携型認定こども園の園児を対象とするプールを経営しようとする者を追加するほか、規定を整備する。	○	○	○	○	○	○	○	○	
中央区立幼稚園設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
区立阪本幼稚園を廃止する。									
中央区立学校設備使用料条例の一部を改正する条例									原案 可決
区立佃中学校の大規模改修工事に伴い、同校のスポーツ利用に係る校庭の用途及び使用料の限度額を追加する。	○	○	○	○	○	○	○	○	
中央区役所本庁舎外壁改修その他工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
契約金額 3億1,790万円 契約の相手方 萬世・友菱建設共同企業体									
中央区立晴海ガーデンコート等複合施設外壁及び防水改修工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
契約金額 2億8,278万9,870円 契約の相手方 森組・新日本リフォーム建設共同企業体									
指定管理者の指定について（中央区立中央会館）	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
指定管理者 松屋グループ・オーエンス共同体 指定の期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日									
指定管理者の指定について（中央区立京橋区民館、京橋プラザ区民館、銀座区民館、新富区民館、明石町区民館、八丁堀区民館、新川区民館）	○	○	○	○	○	－	○	○	原案 可決
指定管理者 スターツファシリティサービス株式会社 指定の期間 令和3年4月1日～令和6年3月31日									
指定管理者の指定について（中央区立堀留町区民館、人形町区民館、久松町区民館、浜町区民館、新場橋区民館）	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
指定管理者 日本メックス株式会社 指定の期間 令和3年4月1日～令和6年3月31日									
指定管理者の指定について（中央区立佃区民館、月島区民館、勝どき区民館、豊海区民館、晴海区民館）	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
指定管理者 タフカ株式会社 指定の期間 令和3年4月1日～令和6年3月31日									
指定管理者の指定について（中央区立総合スポーツセンター、浜町運動場、月島スポーツプラザ）	○	○	○	○	○	－	○	○	原案 可決
指定管理者 中央区スポーツ未来創造パートナーズ 指定の期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日									
指定管理者の指定について（中央区立月島運動場）	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
指定管理者 タフカ株式会社 指定の期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日									
指定管理者の指定について（中央区立豊海テニス場）	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
指定管理者 タフカ株式会社 指定の期間 令和3年4月1日～令和6年3月31日									
特別区道の路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
東京都市計画勝どき東地区地区計画による人道橋の整備に伴い、特別区道の路線を認定する。									
中央区職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
職員の期末手当の支給月数を改定する。									
中央区教育委員会委員の任命同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 同意
渥美哲夫氏の任命に同意する。									
○議員提出議案									
「新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書」の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
○諮問									
地方自治法第244条の４第２項の規定に基づく議会への諮問について	○	○	○	○	○	○	○	○	決定※
中央区営人形町駐車場における定期駐車利用不承認処分についての審査請求に係る諮問									
○議決									
懲罰について	○	×	○	○	○	×	○	○	原案 可決
高橋元気議員に対する懲罰									

※ 裁決書案のとおり裁決することに異議ない旨意見することと決定

区議会各会派

新年を迎えて



中央区議会自由民主党議員団 幹事長 磯野 忠

あけましておめでとうございます。皆様、コロナ禍のなか、大変なご苦勞をされておりますこと、衷心よりお見舞い申し上げます。最大会派の責任として、コロナ対策に係る医療、経済、教育の整備、防災、子育て等福祉施策の充実に努めました。11月補正では、地域経済のため、年末年始向け経済支援策が我が会派の発意で実現しました。本年は、二次保健医療圏による区内病床数不足の解消、日本経済の中心地としての機能強化といった課題に取り組み、中期的展望を見据えた経済対策を実現してまいります。

あたらしい中央 幹事長 青木 かの

新しい年を迎えました。新型コロナウイルス感染症がまだまだ収束の気配を見せない中、その影響を受けている多くの皆様にお見舞い申し上げます。このような状況の中、中央区議会議員として何ができるのか。私達「あたらしい中央」は、今年もインターネットを積極的に活用しながら、区民の皆様との対話を重視し、そのお声を反映した「新しい区政」の実現に向けて邁進して参ります。令和３年が素晴らしい年となりますように。

中央区議会公明党 幹事長 墨谷 浩一

謹んで新年のお慶びを申し上げます。新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会・経済活動の両立支援が求められている中、本年は、東京2020大会の開催が予定されております。より一層の安全で安心なまちづくりを推進するため、医療・介護施設などへの支援、子育て支援、防災・減災対策の充実、地域経済の活性化支援などあらゆる分野において全力で取り組んで参ります。公明党は「大衆とともに」との立党精神のもと、これからも区民の皆様の暮らしと経済を守るために誠心誠意働いて参ります。

中央区議会区民の風 幹事長 渡部 博年

新年あけましておめでとうございます。私達は、令和２年５月に新たな会派「中央区議会区民の風」を原田賢一議員、山本理恵議員と共に結成いたしました。昨年は、コロナ禍の大変厳しい時でありましたが、今後も区民の皆様の福祉向上と地域発展を基本に誠心誠意活動させて頂く所存です。本年は、東京オリンピック・パラリンピック大会開催の年でもあり、区政を取り巻く状況は大きく動く事と思います。区民の皆様をはじめ世界が平和で健康であることを心より祈念いたしまして年頭の挨拶といたします。

立憲民主党新風会 幹事長 渡部 恵子

新春のお慶びを申し上げます。元旦に際し、この事態が早く収束し、東京2020大会により皆様へ感動とにぎわいがもたらされるよう願っております。本年は厳しい財政運営が予想されますが、都心中央区の発展は東京そして日本経済全体へ還流するため、コロナ後を見据えたまち全体の基盤整備と豊かな区民生活に向けた基本計画を適切に実行してまいります。立憲民主党新風会は、区民の皆様のお声を大切にし、福祉向上のため鋭意努力してまいります。皆様の一層のご健康ご多幸を会派一同お祈り申し上げます。

日本共産党中央区議会議員団 幹事長 小栗 智恵子

明けましておめでとうございます。日頃のご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。昨年はコロナ禍の中、命とくらしを守るため、政治が「公助」の役割を果たすことが問い直された年でした。ポストコロナの時代を見すえて、一番身近な中央区政が、東京一極集中政策から脱皮して、緑ゆたかな、くらし・福祉最優先のまちづくりをすすめるよう、力を尽くします。本年もよろしくお願いいたします。